

みやぎのだより

No. 102

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成30年1月26日



29.12.7 婦人部栗原支部研修会(コケリュム教室)

CONTENTS

新年の挨拶.....	1	牛群検定～優良事例紹介～Vol.9	7
婦人部仙南支部研修会開催	2	飼料情勢	8
平成29年度産永年生牧草2番草の成分分析結果 について	3	平成29年度 生乳生産実績	9
第13回酪農フレンズパーティー開催	3	組合員資格の確認について(お願い)	9
仙台市ガス局共催料理教室開催	4	理事会通信	9
牛乳・乳製品料理コンクール東北大会	4	業務報告	10
酪農技術シリーズ⑨	5	編集後記	11

新春を迎えて



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成



新年あけましておめでとうございます。

佳き新春を組合員の皆様とともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

日頃より組合運営に対する温かいご支援とご協力を賜わり厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、昨年を振り返りますと、国際情勢では日欧EPA交渉の妥結、米国抜きのTPP11大筋合意など貿易自由化の進展が続き、一方、国内情勢に目を向ければ、生産基盤の弱体化を背景に、酪農所得向上を目的とした議論が活発になる中、規制改革会議の提言に端を発した酪農制度改革は、加工原料乳生産者補給金制度を畜産経営安定法の中に再編される法案が成立するなど、新たな酪農乳業システムの枠組みづくりが進んだ一年でありました。

また、近年は自然災害が多発傾向にあり、7月には九州北部に記録的な豪雨があり、その影響で福岡・大分両県で生乳廃棄などの被害が発生し、また、本県においては、9月と10月の台風18号と21号の大雨の影響で、収穫前の飼料作物や追肥・播種後の圃場の冠水などの被害をもたらしました。被害を受けられた皆さまには、改めて心よりお見舞い申し上げます。

本年は、正にかつて経験したことのない激動の時代の幕開けともいえる一年となり、制度の抜本的な改革と貿易自由化の進展は、酪農経営にとりまして先行き不安を募らせています。

制度改革につきましては、半世紀に亘り国内酪農の基幹制度であった加工原料乳生産者補給金等暫定措置法(不足払法)が廃止の上、加工原料乳生産者補給金制度を、畜産経営の安定に関する法律の中に再編される改正法案が6月9日、可決・成立されました。補給金の交付対象者の拡大と、無条件全量委託の原則が廃止されたことが主な改革点であり、また10月24日には改正畜安法の具体的な運用を定めた政省令の交付と生産局長通知が示されたものの、私ども酪農業界が維持を求めた需給調整機能をはじめとする指定団体制度の機能は維持されるのか深刻な懸念がなお払拭されず、生乳取引における実務の混乱など、疑問を解消できていません。今後、改正畜安法が実態に即した改善をはかり、指定団体の需給調整等の機能が実質的に維持されるとともに、生産基盤の維持につながる制度運用を期待するものであります。

自由化の進展につきましては、日欧EPA交渉が7月6日、大筋合意に達し、TPPでは譲歩しなかったソフト系チーズを含むチーズの複数品目を組み合わせた新たな「関税割当枠」が新設され、また脱脂粉乳・バターではTPP合意にも類似した低関税の「EU枠」(発効6年目で最大・生乳換算15千トン)が新設

されるなど、T P P以上に厳しい合意内容が含まれているにも拘わらず、T P P以上に秘密主義で、交渉内容についてもまともに議論さえ行われなかったなど、正に愚行というほかありません。補正予算で生乳の品質向上の取組や製造施設の整備などの支援を盛り込んでいるものの、国内対策などの対症療法だけでは不十分であり、食料自給率や酪農の多面的機能など、国として譲ってはならない国益の主張が残念ながら見えてきません。

酪農界は、依然として酪農家の高齢化や後継者不足という課題を抱えており、生産力の維持・向上と活力ある農村の形成はまったなしの状況にあり、これら課題と変革の時代を乗り越えるには、協同組合運動に対する意識の希薄化が懸念される今の時代だからこそ、協同組合本来の理念を再確認し、協同の精神で組合を通じて組合員が心を一つにすることが重要であると考えます。

協同組合の理念の下、前例だけを踏襲するのではなく、時代の変化に対応し、さらに先を洞察し、先導していく態勢が必要であり、産業組合を築き上げた多くの先達が重んじた「信ナケレバ立たズ」の言葉を、組合運営の要所において絶えず反芻しながら、本当の意味において信頼される組合づくりを目指してまいります。そして、これまで以上に意欲をもって営農できるよう組合員の皆さまと向き合いながら、酪農所得向上の実現を目指すと共に、ニーズにスピード感ある対応をするなど、万全の対策を目指し、酪農が将来に亘って発展していくために、日々粉骨砕身の気持ちで取り組んでまいりますので、昨年に倍しご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員の皆さまにおかれましても、今後いかなる国際環境、経済社会情勢の変化にあっても更なる高みを目指して、酪農経営に取り組んで下さることを切に希望いたします。

最後になりますが、新しい年が組合員の皆さまにとりまして、限りない幸せと健やかな毎日でありますよう心から祈念して新年のごあいさつといたします。

婦人部仙南支部視察研修会開催

指導課

11月29日(水)蔵王町「一般財団法人蔵王酪農センター」内の「蔵王デーリィパイオニアセンター」及び「蔵王キャトルセンター」にて婦人部仙南支部の視察研修会を開催しました。

今回の研修会は先進的な酪農施設の見学、勉強を目的に地元蔵王町で昨年5月に完成したばかりの搾乳牛舎を視察しました。また、当組合農家の育成牛も預託されている牛舎が隣接しており併せて見学しました。



参加者はまず搾乳牛舎を視察し、自動エサ寄せロボットやロボット搾乳、コンポストバーンなどの施設を見学しながら大和場長の説明を熱心に聞いていました。続いて預託牛を扱う牛舎の見学では給与している牧草や預託料について質問するなどの姿も見られました。

視察終了後は場所をペンション「ふきのとう」に移し、懇親会を行いました。

今回の視察内容を現在の経営に直接活かせる場面は少ないかもしれませんが、参加者は最新の技術を直に目にすることで良い刺激を受けたようでした。

1. 背景と目的

今年の宮城県内は、梅雨前線や台風の影響で記録的な長雨が続き、その影響により永年生牧草の2番草の刈取りが遅れ、3番草においては刈取りが出来ない草地もみられました。

また、生産現場において2番草は「嗜好性が悪い」、「栄養価が低い」、あるいは「腹持ちが悪い」などと評価されることが多く、搾乳牛に給与を控える農家が多くいますが今年は牧草の収量が激減したこともあり、やむを得ず給与する状況にありました。

牧草の品質や収量が十分確保できておらず、今後の生乳生産にも悪影響を及ぼすことが考えられます。

このようなことから白石市不忘地区、三住地区・七ヶ宿町長老地区、柏木山地区・蔵王町北原尾地区の6件の農家に協力いただき、永年生牧草2番草(以下「2番草」と呼ぶ)の成分分析を行い検証する事としました。

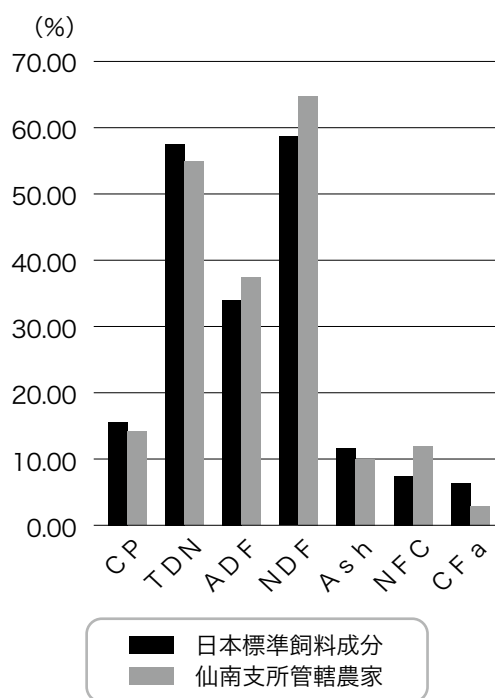
2. 結 果

今回、成分分析を行った2番草は刈遅れが進んだ状態で収穫されたため、B P (結合蛋白)はC P (粗蛋白質)の1割を超えており、刈遅れが原因でダメージを多く受けた牧草であると考えられます。

また、A s h (粗灰分)が10%以上であると土の混入が疑われるとされていますが、今回の分析では10%を超える牧草が多く見受けられ、酪酸発酵やカビ毒の発生が危惧されます。その他の結果については例年並みの2番草の数値(図表1)に近いものでありましたが、C P は14.24%、T D N (可消化養分総量)は55.04%と若干ではありますが共に低く、それに伴いA D F (酸性デタージェント繊維)が37.49%と高くなり消化性があまり良くない牧草で、繊維総量成分であるN D F が64.94%と高いためD M I (乾物摂取量)の低下も考えられます。

このことから2番草を給与するに当たり注意する点として、カビ発生部分については可能であれば廃棄し、混入が考えられる場合はカビ吸着剤の給与を行い、また単体給与を避けT D Nが高いオーツヘイやチモシー等を併用して給与することが望ましいという結果となりました。

分析結果(乾物)



第13回酪農フレンズパーティー開催

12月17日(日)仙台市勝山館スカーレットプラザにおいて、酪農に携わる独身男性と、酪農に興味・関心のある一般女性が集う「第13回酪農フレンズパーティー」を開催しました。

今回の酪農フレンズパーティーは定員を上回る参加申し込みがあり、男性23名と女性35名が、自己紹介から始まり、限られた時間の中で緊張しながらもお互いに自己アピールをしました。フリータイムでは、男性が女性に食事を取り分けてあげるなど、微笑ましい光景があり楽しい時間を過ごせたと思います。

現在、酪農家にとって大変厳しい酪農情勢ですが、酪農後継者が酪農を続けていくためにも素晴らしいパートナーと出逢い、励みとなる明るい将来を育んでいけるよう願っています。



仙台市ガス局共催料理教室開催

宮城県牛乳普及協会

11月17日(金)仙台市ガス局ガスサロンのキッチンパレットにて「ミルク中華」をテーマに料理教室を開催いたしました。

講師には、雪印メグミルクの菊地悠先生と桜井尚子先生を迎えました。

メニューは、野菜たっぷり栄養満点の「ミルクあんかけ丼」、具がたくさん入っていて今の時期には体が温まる「具たくさんなカニ玉スープ」、さけるチーズを使用した「さけるチーズのナムル」、デザートには「アジア胡麻プリン」を作りました。一見中華に牛乳・乳製品！？と思いますが、とても美味しく、体にも良いのでオススメです。

試食をしている際には、牛乳のちょっとした豆知識やカルシウム、骨に関するお話をいただき、参加者の方も聞き入っていました。参加した方からは、「牛乳・乳製品を使用し、健康にも良く、美味しい」、「カルシウムと骨の話を聞いて、これからはもっと牛乳乳製品を摂ろうと思った」、「牛乳・乳製品を使った料理をもっと知りたい」などのお声をいただき大好評でした。



カルシウムは体内で作ることができないため、食事などから摂取するしかありません。また、摂取したカルシウムはすべて体内に留めておくことができないため、毎日摂取することが大切です。骨粗しょう症予防のためにも、日々の食生活に積極的に牛乳乳製品を取り入れて下さい。

今回のレシピや参加者の方々の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

【URL】 <http://miyagi-milch.jp/>



牛乳・乳製品料理コンクール東北大会

宮城県牛乳普及協会

11月11日(土)仙台市の宮城調理製菓専門学校において、東北6県用最優秀賞、優秀賞に選ばれた各県の代表2名ずつの計12名で、牛乳・乳製品料理コンクール東北大会が開催されました。

どのレシピも牛乳・乳製品をたくさん使っていて、各県の代表ともあり、レベルの高い素晴らしい作品でした。宮城県代表から山内千絵美さんの「champ de fleurs」と林明さんの「夏野菜のミルク豚汁チーズ団子入り」が出場されました。

栄えある最優秀賞に選ばれたのは、堀野いなほさん(秋田県)の「ちょこっとみそのバイクドチーズケーキ」。優秀賞(審査委員特別賞)に選ば



れたのは、中森彩美さん(岩手県)の「乳(NEW)かまもち」。優秀賞に選ばれたのは、長谷川元子さん(山形県)の「赤と緑の夏野菜のせ2種のおこめブランマンジュ」でした。なお今年の2月頃、最優秀賞堀野さんの作品はハミングバード・インターナショナル、審査委員特別賞中森さんの作品は炭焼・活魚 魚MARUで期間限定メニューとして提供されますので、皆さんぜひ食べてみて下さい。

今回出場された方のレシピについては、東北生乳販連のHP、クックパッドに掲載されておりますのでぜひご覧下さい。

東北生乳販連HP <http://www.dairy.co.jp/touhoku/archive/kulbvq000000jlc2.html>
クックパッド <https://cookpad.com/kitchen/17310246>

今回は、「子牛の寒冷ストレス」についてです。

だいぶ寒い時期になっており、寒さだけでなく、一日の気温変化や、日ごとの気温変化が大きくなってきます。人間にも辛い季節ですが、温度調整がうまくできない子牛にとっては大きなストレスになる時期です。免疫力が低く体調を崩しやすい子牛にしてあげられることは为什么呢か・・・

● 新生子牛と寒冷ストレス⇒低体温症に注意！

生まれたばかりの子牛は被毛が薄くて細く、皮下脂肪が少ない状態です。体脂肪率(蓄積)は、体重の3～4%しかありません。(人間の新生児の体脂肪は体重の約16%と言われています)

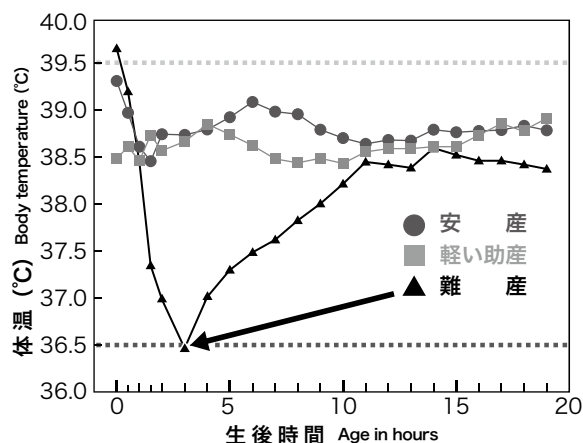
体の表面積が容積に比べて大きく、冷え易い(特に和牛やF1)子牛では深刻な状況です。ゆえに寒冷対策としても、**高乳脂肪＝高エネルギーな初乳給与**が重要となってきます。

☆おさらいしましょう☆ 出生直後の子牛に必要な事 **5カ条**



「出生直後の管理」をおさらいしましょう！

- ① 生後速やかに子牛を母牛から離し衛生的な場所に移す(母子の同居時間が長い程、下痢などの事故が増加)
- ② 速やかに子牛の体を乾燥させる
- ③ 臍を希ヨードチンキで消毒、落下するまで朝夕2回塗布(またはスプレー)
- ④ 第1回目の初乳給与は生後30分以内に2リットルを目標に給与
- ⑤ 初乳は飲めるだけ飲ませる(粉末初乳でも同様)
- ⑥ 逆子などの難産で生まれた子牛は清潔な場所で2～3時間休ませてから給与
ただし6時間以上待たないこと!(強制投与)
- ⑦ 第2回目の初乳給与は生後6時間以内に1～2リットルを追加給与
- ⑧ 生後24時間以内に総合計で5～6リットルの初乳を数回に分けて給与する
- ⑨ 生後6時間以内にどれだけ多く飲めるかが勝負!



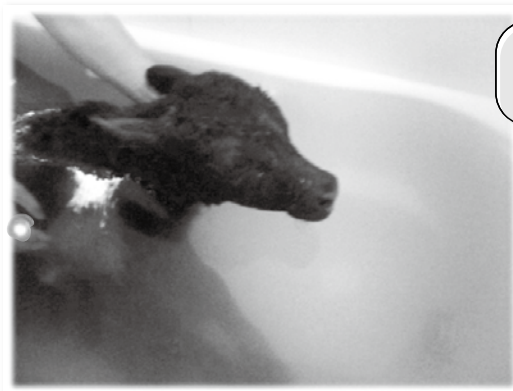
● 難産は子牛の熱生産能力と体温を低下させます (特に冬季は低体温症の危険)

図のように、難産で産まれた子牛の体温は最大3℃低下していたことが分かっています。

From Davis and Drackley, 1998; Adapted from Vermorel et al. (1989)

● 出生直後の低体温症への対策の一つ⇒温湯入浴!

あ〜暖かい！
元気が出てきたよ！



体が冷え切っていたら
お風呂に入れてね！



〈 注 意 〉

意識がはっきりしていないときは、放置して溺死しないようにしましょう。また、急に慌てて温めると、かえってショックなどのレスキュー・デスを招く危険があるので注意が必要です。

● 寒さから守る

牛は体温を奪われることで寒さを感じます。例えば体が濡れている状態で風にさらされると体温を奪われ、体力を消耗し下痢や風邪の発生につながります。また、糞や尿などで体が汚れると、被毛の保温力が失われ、子牛が感じる温度は実際の温度よりも低くなります。冬は床の乾燥、隙間風対策、保温(電球の使用)が大切です。

子牛の体温が奪われるのを防ぐため、こまめに敷料を取り換えることが重要です。

また、寒冷ストレス下の飼養管理として、図のようなカーフジャケットの使用も効果的です。



「冷っ」とする敷料はお腹を冷やします



全酪連「モーベスト」



● 哺乳量を増やし、給与時の温度もチェックしましょう。

寒冷ストレス下では、維持エネルギーが増加するため、哺乳量を10～20%割増しにすると良いです。ただ上記の寒さへの対策を講じないと哺乳量を増やしても維持エネルギーが不足しやすい状況になります。

また哺乳時の温度は40℃が目安となります。寒冷時は給与時の温度が低下しやすく、温度が低い場合、消化不良を起こしやすくなりますので注意しましょう。

維持要求と日増体重 500g を満たすために要求される代用乳の乾物給与量 kg / 日

体重Kg (BW,kg)	気温℃ Temperature,℃						
	20	10	0	-5	-15	-20	-30
27	0.54	0.59	0.68	0.73	0.77	0.82	0.86
36	0.59	0.68	0.77	0.82	0.91	1.05	1.10
45	0.68	0.77	0.86	0.95	1.05	1.15	1.18
55	0.77	0.86	1.00	1.05	1.15	1.20	1.30

全酪連・酪農セミナー2007より

跡部牧場（あとべ ぼくじょう）

●牧場の概要

- *所在地：登米市登米町
- *飼養頭数：40頭、育成牛15頭
- *年間出荷乳量：約414t
- *補正乳量：約10,350kg／頭

●牧場のこだわりと目指すもの

1群管理のフリーストール牛舎で搾乳牛と乾乳牛と一緒に飼うことに不都合と限界を感じ、5年前に思い切って牛舎を大改築。泌乳牛を3群に分け、フリーバーン方式の乾乳牛舎を新たに設け、更に分離給与からTMR給与に転換して効率的な飼養体系にリニューアルしました。これにより乳量と乳質が安定し、疾病が減る等の効果が目に見えて現れ始めました。牛舎の見回りをして健康状態の確認と発情チェックを欠かさず行い、何かあれば早期に対応しています。搾乳牛舎のベッド及び乾乳牛舎には戻し堆肥をふんだんに利用して乳房炎等の発生を予防し、牛体を綺麗に保つよう心掛けています。目下、育成牛を中心にゲノム解析で能力の把握に努めており、総合指数上位の牛には性判別精液を使用し、優良後継牛の確保を進める他、地域酪農家と連携した和牛ET子牛生産を強化することで更なる経営の安定を目指します。

また、牛の健康維持や乳生産には良質の自給飼料が欠かせないという理念からイタリアンライグラスや混播牧草に力を入れており、安定した生産量と品質を確保するために、適期収穫、土壌分析に基づく施肥や定期的な更新を実施しています。



〔後継者の跡部夫婦〕



〔乾乳牛舎〕

●牛群検定の活用方法

検定情報では、乳量、乳成分、NUM値に目を通して、牛毎の成績やコンディションの把握に努め、異常値の場合には、餌の給与調整と牛群の構成を変える等して改善を図っています。分娩間隔や牛群の乳量の推移等も一目で分かるので改善したい点や今後の目標を立てるのに大いに活用しています。特に体細胞数は牛の具合や乳房炎に関係するので、数値と牛の状態を見て治療する等処置をしており、改善の見込みが無い場合は、淘汰するなどの判断にも活用しています。

また、毎月送られてくる分娩予定牛のリストは分娩60日前、21日前、分娩予定日が記入されており、リードフィーディングやワクチン接種の目安にもなっています。



〔餌の掃寄作業〕

●牧場から一言

牛群検定情報で個体毎の数値から牛が抱えている問題を明らかにすることができ、飼養管理に活かすことが出来る他、牛の淘汰や後継牛の生産に役立てております。自分の持っている知識や判断では問題を解決していくのに限界があるので、周囲の先輩や関係機関の方々からの経験談やアドバイスを参考に今後も勉強して技術を確立していきます。

〔文責：登米農業改良普及センター 目黒〕

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------|------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | 〔(一社)宮城県畜産協会内〕 | TEL：022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | 〔(一社)宮城県畜産協会仙南事業所内〕 | TEL：0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | 〔(一社)宮城県畜産協会中央事業所内〕 | TEL：0229-34-3304 |

①配合飼料、哺育用代用乳

平成29年度第4四半期(30年1月～3月)の配合価格は原料コスト、中国の需要増加、プレミックスの値上げ、為替相場の円安傾向の影響から1,800円/トンの値上げとなりました。

哺育代用乳については、欧州、オセアニア州の生産量の回復基調が見込まれることから23,000円/トンの値下げとなりました。

②北米コンテナ船情勢

各船会社の多くは1月よりの運賃の値上げは見送りしておりますが、2月以降は値上げを通知している船会社、値上げを行わないことを表明している船会社があります。今後の値上げは必要性をみて判断するものと思われます。

③ビートパルプ

今年度のビートパルプ生産量は一部の地域で単収が減ったことから下方修正されました。日本への供給は影響ないとみられますが、在庫品はほぼ売約済みとなっている模様です。

④アルファルファ

(A)ワシントン産

輸出向けや米国内の酪農家より引き合いが強いことから上級品はほぼ売約済みとなっている模様です。

(B)オレゴン産

高成分の上級品は米国内の酪農家より需要が多く、価格は堅調に推移しております。

(C)カリフォルニア産

12月上旬に17年産の生産、収穫は終了しております。米国内の需要は酪農家から肥育農家まで幅広く、上級品から低級品まで在庫は少なくなっており価格も堅調に推移している模様です。

⑤チモシー

(A)US産

日本、韓国からの引き合いが強く価格は堅調に推移しております。日本の輸入量は8～11月輸入量で前年より約1%増加しております。産地相場の高騰から18年産の作付面積は増加すると予想されております。

(B)カナダ産

南部レスブリッジ、中部クレモナ地域とも天候に恵まれ上級品の発生が多くなりました。日本、韓国からの引き合いが強く殆どが売約済みとなり在庫は少ない模様です。日本の輸入量は8～11月輸入実績で前年より約10%増加しております。

⑥ストロー類

17年産について作付面積、単収とも減少しており韓国からの引き合いが依然強く相場の高騰が続いております。

⑦豪州産オーツヘイ

南豪州、東豪州の新穀の収穫は終了し殆ど上級品となっております。中級品以下は16年産の在庫と合わせた供給が予想されます。

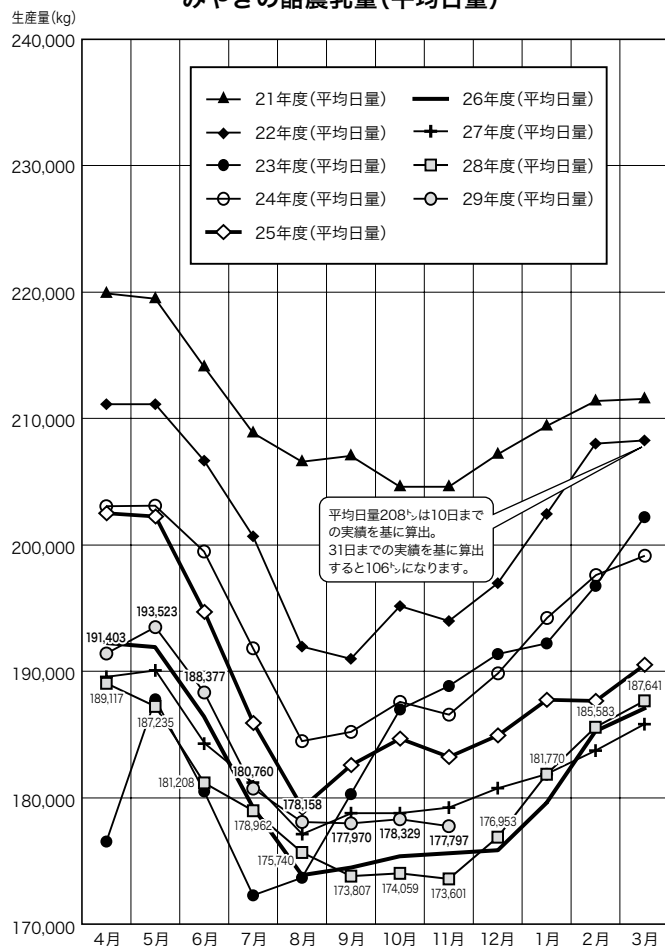
西豪州は収穫期の後半に降雨の被害があり中級品以下が多く発生しております。上級品は例年より限定的となり、16年産の在庫があり17年産と合わせた供給が予想されます。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、ご利用賜いますようよろしくお願いします。

平成29年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成29年度生乳生産実績(4月～11月 標準進捗率66.85%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白 石 支 部	22	4,392,221.2	4,249,966.6	103.35	6,416,800.0	68.45
七ヶ宿支 部	6	1,631,636.4	1,493,240.7	109.27	2,289,964.0	71.25
蔵 王 支 部	26	5,435,586.2	5,471,538.5	99.34	8,242,155.0	65.95
柴 田 支 部	17	2,790,250.5	2,801,437.0	99.60	4,235,113.0	65.88
角 田 支 部	7	1,475,180.0	1,362,295.9	108.29	2,145,845.0	68.75
丸 森 支 部	13	2,154,749.2	2,095,778.0	102.81	3,153,507.0	68.33
仙 台 支 部	12	2,495,728.8	2,575,504.8	96.90	3,879,344.0	64.33
名 取 支 部	6	591,100.0	653,193.0	90.49	961,322.0	61.49
黒 川 支 部	6	860,961.0	1,018,549.0	84.53	1,400,428.0	61.48
大 崎 支 部	19	2,331,904.0	2,364,661.0	98.61	3,626,724.0	64.30
遠 田 支 部	16	4,014,406.0	3,912,052.0	102.62	5,946,902.0	67.50
加 美 支 部	20	1,909,075.0	1,891,295.0	100.94	2,810,605.0	67.92
鳴 子 支 部	13	1,437,895.0	1,570,119.0	91.58	2,309,079.0	62.27
一 迫 支 部	12	2,028,876.0	1,962,417.0	103.39	2,966,924.0	68.38
築 館 支 部	14	1,443,628.0	1,391,572.0	103.74	2,096,661.0	68.85
瀬 峰 支 部	8	860,393.0	888,982.0	96.78	1,281,173.0	67.16
迫 支 部	13	3,073,849.0	2,370,649.0	129.66	3,722,005.0	82.59
中 田 支 部	9	1,036,559.0	920,022.0	112.67	1,432,193.0	72.38
東 和 支 部	7	815,746.0	832,924.0	97.94	1,237,517.0	65.92
志 津 川 支 部	9	938,973.0	808,034.0	116.20	1,260,516.0	74.49
本 吉 支 部	11	690,192.0	710,097.0	97.20	1,070,549.0	64.47
石 巻 支 部	6	719,659.0	751,441.0	95.77	1,097,936.0	65.55
豊 里 支 部	12	1,591,676.0	1,632,093.0	97.52	2,359,738.0	67.45
みやぎの酪農	284	44,720,244.3	43,727,861.5	102.27	65,943,000.0	67.82

※出荷戸数については、直近の数字です。

組合員資格の確認について(お願い)

総務課

組合員資格に変動が生じた場合は、定款の定めるところにより、書面で組合にお届けいただくことになっています。組合員資格に変動があった場合はお手数ですが、最寄りの支所、事業所等へお申し出いただきますようお願いいたします。

※組合員資格の変動は、組合員資格を喪失した場合や、お名前、ご住所の変更等のほか、正組合員から准組合員に、または准組合員から正組合員に資格が変動した場合等が該当します。

理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開 催 日 平成29年11月27日

付議事項 第1号議案 平成29年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について
第2号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開 催 日 平成29年12月14日

付議事項 第1号議案 組織に関する規程類の一部変更について

11月1日	2017東日本デイリーショー	岩手県
11月4日	あぶくまの里モーモーまつり	丸森町
11月5日	気仙沼市本吉産業まつり2017	気仙沼市
11月6日	東北生販監査会	仙台市
11月7日	肉用子牛生産者補給金制度調査指導	本所市
11月8日	加工原料乳補給金新制度説明会	仙台市
11月9日	宮城県酪農団体合理化検討会専門部会	本所市
11月10日	青年部登米支部交流会	登米市
11月11日	牛乳乳製品利用料理コンクール東北大会	仙台市
11月13日	本吉支部交流会	岩手県
	上半期決算監査 ～ 15日	本所市
	J Aグループ宮城「経営トップセミナー」	仙台市
11月14日	東北酪農生産研究会海外研修 ～ 23日	オーストラリア
	学校給食用牛乳供給事業担当者会議・研修会	仙台市
11月15日	購買・指導担当職員研修会	仙南支所市
	年末調整説明会	大崎市
11月16日	購買・指導担当職員研修会	本所市
	東北生販理事会	仙台市
11月17日	牛乳・乳製品料理教室	仙台市
11月20日	平成29年度退職準備セミナー	仙台市
	仙台支部研修会	仙台市
11月21日	みやぎの酪農旅行会研修旅行 ～ 23日	石川県
	平成29年度家畜自衛防疫推進会議家畜衛生専門委員会	仙台市
	平成29年度死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	仙台市
	J G A P 家畜・畜産物研修会	大崎市
	全酪連仙台支所購買・畜産・指導主任者会議 ～ 22日	山形県
	精神障害者雇用促進セミナー	大崎市
11月22日	全酪連会員職員研修会	東京都
	年金委員・健康保険委員合同地区研修会	大崎市
	東佐沼こども園整備説明会	登米市
11月23日	東北酪青女会議・少団連交流40周年記念式 ～ 24日	東京都
11月27日	第8回理事会	本所市
	(株)みやぎの運送取締役会	本所市
11月28日	東北生販事業推進委員会	仙台市
11月29日	婦人部仙南支部研修会	蔵王町
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	東京都
11月30日	東北生販生乳受託販売委員会	仙台市
12月1日	角田市酪農組合連絡協議会先進地視察研修会	蔵王町
	築館支部研修会	栗原市
	(公財)畜産近代化リース協会業務推進打合せ会議	東京都
12月4日	自衛防疫推進対策会議	大河原町
	業務委員会	本所市
	瀬峰支部研修会	大崎市
12月5日	志津川支部研修会	南三陸町
	一迫支部研修会	大崎市

12月 6 日	総務委員会 フレンズパーティー事前講習会 酪農ヘルパー事業優良事例発表会 自衛防疫推進会議	本 所 本 所 東 京 都 美 里 町
12月 7 日	気仙沼市本吉牧場衛生検査報告会・放牧検討会 婦人部栗原支部研修会(コケリュム教室) 東北生販理事会 大崎支部研修会	気 仙 沼 市 栗 原 市 仙 台 市 大 崎 市
12月 8 日	生乳取扱者研修事業第2回認定委員会 (一社)全国酪農協会役員会・臨時総会	仙 台 市 東 京 都
12月11日	東北生販事業推進会議・支所実務者合同会議 畜産クラスターコーディネーター応用研修 ～ 13日 DMS相談会 平成29年度酪農乳業の国際比較研究会 哺育育成センター運営委員会事前打合せ	仙 台 市 東 京 都 本 所 東 京 都 本 所
12月12日	哺育育成センター運営委員会	気 仙 沼 市
12月13日	上原酪農組合研修会 青年部栗原支部研修会	大 崎 市 栗 原 市
12月14日	JA人事教育担当部課長会議 第9回理事会 取引先懇談会 ～ 15日	名 取 市 松 島 町 松 島 町
12月15日	涌谷町飼料増産組合年末研修会 七ヶ宿・不忘機械利用組合総会	涌 谷 町 白 石 市
12月17日	酪農フレンズパーティー	仙 台 市
12月18日	宮城県酪農団体合理化検討会委員会	仙 台 市
12月20日	加美支部研修会	加 美 町
12月21日	本吉町有機肥料センター利用組合総会 東電損害賠償宮城県協議会第56回総会 (一社)中央酪農会議理事会 Jミルク平成29年度酪農乳業食育推進研修会 牛乳・乳製品フェアヒアリング	気 仙 沼 市 仙 台 市 東 京 都 東 京 都 本 所
12月22日	東北生販臨時総会 豊里支部研修会	仙 台 市 登 米 市
12月25日	J A経営計画樹立研修会	名 取 市
12月29日	仕事納め	

[編集後記]

新年明けましておめでとうございます。

「干支」と言えば日本人には馴染み深いものですが、古代中国では天球を約1年で1周する木星の運行を目安として、12の方向に分けて名前をつけ1年(12ヶ月)の暦を表したものが十二支とされています。今年は「戌年」ですが、戌年生まれの方は誠実で真面目な性格な人が多く恩や義理を重んじることから、周りからの信頼も高いようです。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)